

栃木市 フォトブック

小江戸とちぎのもてなしグルメ
とちぎ江戸料理

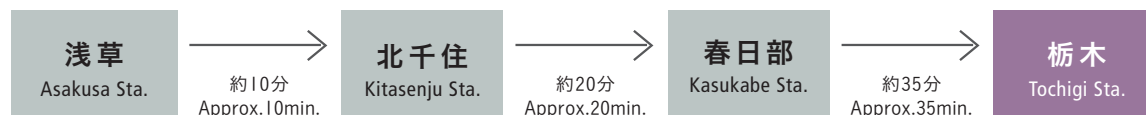


栃木市へのアクセス Access to Tochigi City

電車利用 By Train

東武鉄道(特急スペーシア X / 特急スペーシアけごん・きぬ / 特急リパティけごん・きぬ) * 浅草駅から約65分

TOBU TOBU Limited Express(SPACIA X / SPACIA Kegon, Kinu / Revaty Kegon, Kinu) Asakusa ↔ Tochigi Approx.65min.



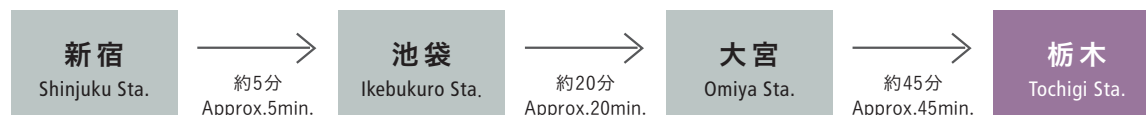
JR東日本 * 東京駅から約55分

JR Tokyo ↔ Tochigi Approx.55min.



JR・東武直通特急(JR特急きぬがわ / 特急スペーシア日光) * 新宿駅から約70分

JR-TOBU JR-TOBU Direct Limited Express (Kinugawa / SPACIA Nikko) Shinjuku ↔ Tochigi with no transfers Approx.70min.



お車利用 By Car

東北自動車道
Tohoku Expressway

川口JCT
Kawaguchi JCT

約50分
Approx.50min.

栃木I.C
Tochigi IC

約90分
Approx.90min.

郡山I.C
Koriyama IC

北関東自動車道
Kitakanto Expressway

高崎JCT
Takasaki JCT

約50分
Approx.50min.

栃木I.C
Tochigi IC

約50分
Approx.50min.

友部JCT
Tomobe JCT

お問合せ CONTACT US

栃木市観光振興課 TEL 0282-21-2373 FAX 0282-21-2683
Tochigi city Tourism Promotion Section

栃木市観光協会 TEL 0282-25-2356 FAX 0282-20-7373
Tochigi city Tourist Association



小江戸 とちぎ

Kura no Machi
Japanese
Gondola Ride

江戸時代より日光例幣使街道の宿場町として、また、街の中心を流れる巴波川の舟運で江戸との交易地として栄えました。今も市内には、往時の隆盛をしのばせる蔵の街並みが残っています。



蔵の街遊覧船
(問)0282-23-2003
(10:00~16:00 ※冬季~15:00)

1日1組限定の
「とちぎ江戸料理ランチプラン」あり
(要予約) <http://tochigi-edo.jp>



横山郷土館
(問)0282-22-0159
(9:00~17:00、月曜休館)

巴波川沿いにある横山郷土館は、明治時代に銀行と麻問屋を営んでいた豪商、横山家の住居兼店舗。両袖切妻造と呼ばれる貴重な建物で、国の登録有形文化財にも登録されています。

Yokoyama Kyodokan

今に伝える

商都の栄華





小江戸のもてなし
とちぎ江戸料理

Tochigi Edo Dishes

味覚でも小江戸を楽しんでもらいたい。専門家を招いて、江戸期の料理を研究し、郷土料理や伝統食材を見直して創り上げた栃木市のもてなしグルメです。



とちぎ江戸料理
(問) 栃木市観光振興課
0282-21-2373



とちぎ秋まつり(隔年開催)
(問) 栃木市観光振興課
0282-21-2374

北関東最大の商都だった栃木の商人たちが、日本橋から人形山車を買取り、慶事がある度に披露したのが始まりです。人を喜ばせたいという旦那衆の思いは、百五十年たった今も息づいています。

Tochigi

Float Festival

旦那衆の思いがつかないだ

とちぎ秋まつり





蔵の街大通り

Kuranomachi Street

江戸期創業の三樹屋本店や毛塚紙店など、趣のある見世蔵や大正から昭和にかけてのレトロな建物が軒を連ねる、蔵の街・栃木市を象徴するストリートです。



JR・東武栃木駅から徒歩で約15分

とちぎ山車会館

Tochigi Float Hall

江戸型人形山車を3台常設展示し、デジタル技術で再現した「とちぎ秋まつり」を上映しています。蔵の街大通り沿い、祭りの迫力と見事な山車をいつでも堪能できる施設です。



とちぎ山車会館
(問)0282-25-3100



小江戸 とちぎグルメ

Tochigi Food

郷土料理しもつかれや味噌田楽、蕎麦、牛鍋といった老舗の味、特産のいちごを使ったスイーツ、クラフトビールなど、市内のそこそこに美味しいものがあります。



(問)(一社)栃木市観光協会
0282-25-2356

歌麿が 愛したまち

The Town Utamaro Loved

江戸の人気浮世絵師、喜多川歌麿。狂歌を通じて、豪商たちと親交を結び、栃木市に逗留して創作活動をしていたと伝えられています。秋の「歌麿まつり」も人気です。



(問)歌麿を活かしたまちづくり協議会
(栃木市蔵の街課内)
0282-21-2573



着物体験

Kimono Experience

蔵の街大通りから嘉右衛門町にかけて着物レンタルサービスのあるお店があり、着物での街歩きが楽しめます。毎年11月には「小江戸とちぎささの日の日」の開催も。



(問)(一社)栃木市観光協会
0282-25-2356



嘉右衛門町 伝建地区

Kaemon-cho Denkenchiku

日光例幣使街道に沿って、江戸後期から昭和初期にかけて建てられた見世蔵や洋館が多く残り、栃木県内では唯一、重要伝統的建造物群保存地区に選定されているエリアです。



JR・東武栃木駅から徒歩で約25分、東武新栃木駅から徒歩で約10分